

薩摩硫黄島の火山活動解説資料（平成 20 年 1 月）

福岡管区気象台
火山監視・情報センター
鹿児島地方気象台

噴煙活動はやや活発で、火山性地震はやや多い状態が継続しています。
硫黄岳山頂火口から半径約 1 km の範囲に噴石を飛散させる程度の小規模な噴火が発生すると予想されますので、これらの地域では噴火に対する警戒が必要です。
平成 19 年 12 月 1 日に火口周辺警報(噴火警戒レベル 2、火口周辺規制)を発表しました。その後、予報警報事項に変更はありません。

1 月の活動概況

・噴煙活動（図 2）

硫黄岳山頂火口の噴煙活動は、やや活発な状態で経過しました。

噴煙は白色で、高さは概ね 200m で推移しました。

・地震、微動活動（図 2、図 3）

地震活動はやや活発な状態で経過しました。

火山性地震の月回数は 132 回（2007 年 12 月：122 回）とやや多い状態が続いています。

継続時間の短い火山性微動の月回数は 6 回（2007 年 12 月：4 回）でした。

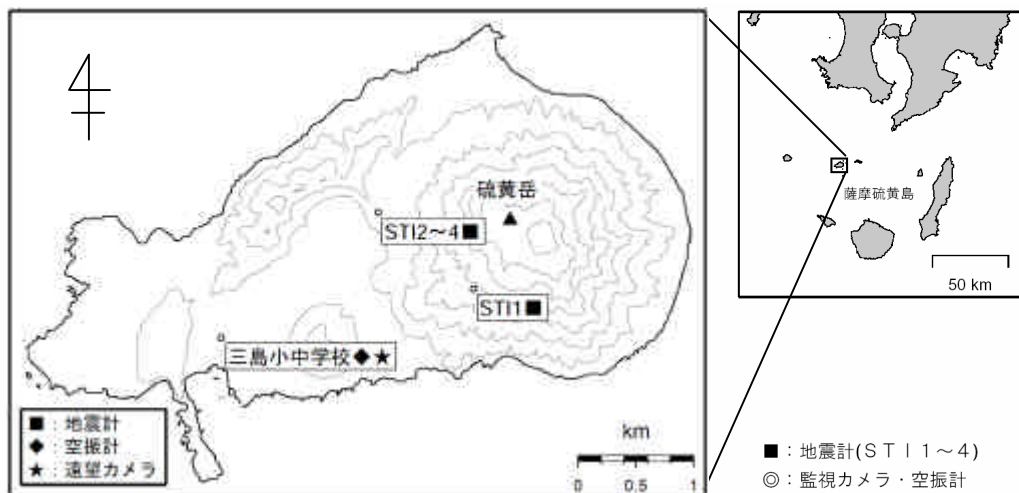


図 1 薩摩硫黄島 観測点配置図

地図の作成に当たっては、国土地理院の承認を得て、同院発行の『数値地図 10mメッシュ(火山標高)』を使用しています(承認番号：平 17 総使、第 503 号)。

この火山活動解説資料は、気象庁ホームページ(<http://www.seisvol.kishou.go.jp/tokyo/volcano.html>)、福岡管区気象台ホームページ(<http://www.fukuoka-jma.go.jp/>)でも閲覧することができます。次回の火山活動解説資料(平成 20 年 2 月分)は平成 20 年 3 月 6 日に発表予定です。

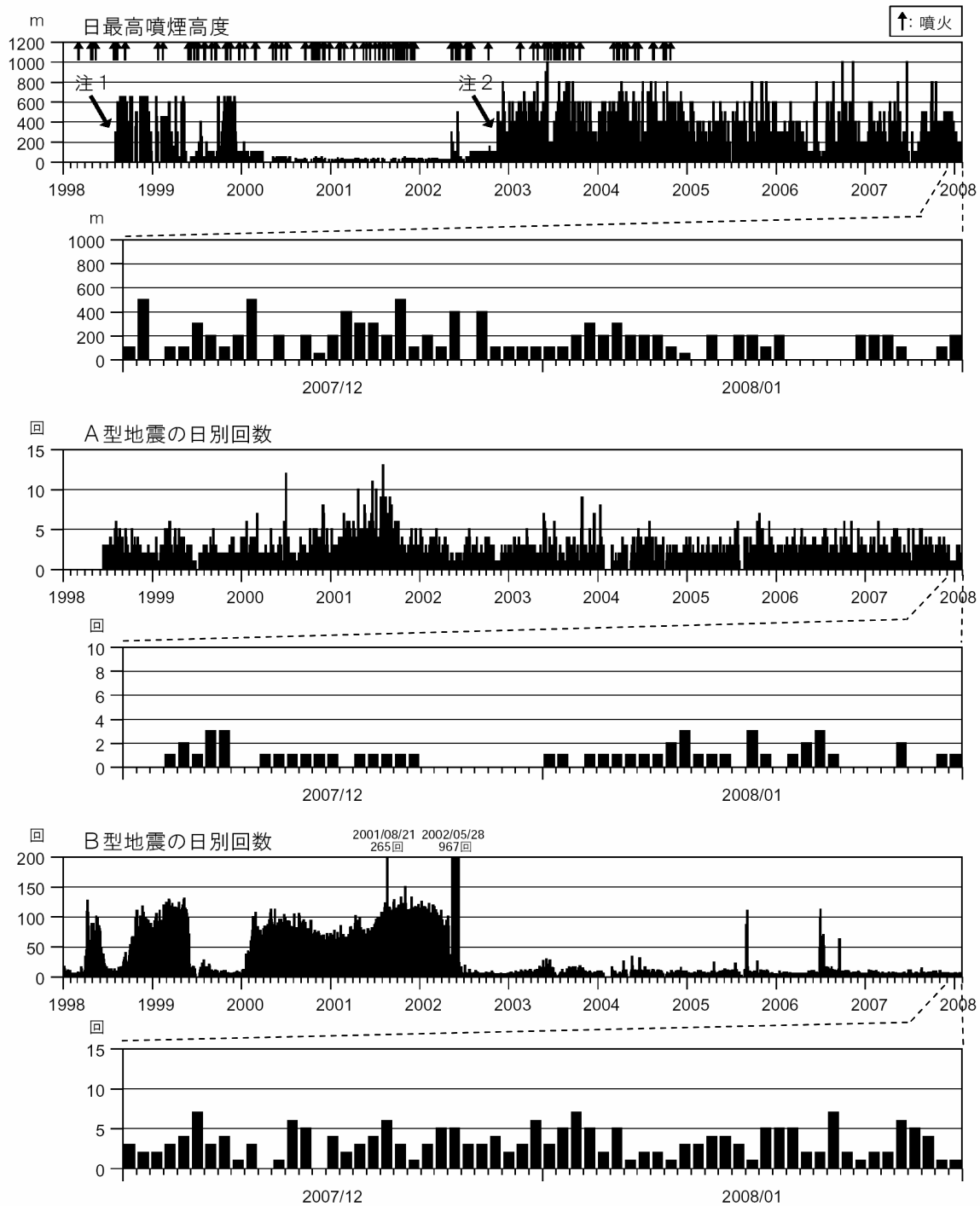


図2 薩摩硫黄島 火山活動経過図(1998年1月1日～2008年1月31日)

- ・噴煙は白色で、高さは概ね 200m で推移しました。
- ・A型地震は 31 回(2007 年 12 月：21 回)で、大きな変化はありませんでした。
- ・B型地震は 101 回(2007 年 12 月：101 回)で、大きな変化はありませんでした。

注1 1998 年 8 月 1 日 三島村役場硫黄島出張所から気象庁へ通報開始。
 注2 2002 年 11 月 16 日 気象庁が設置した監視カメラによる観測開始。

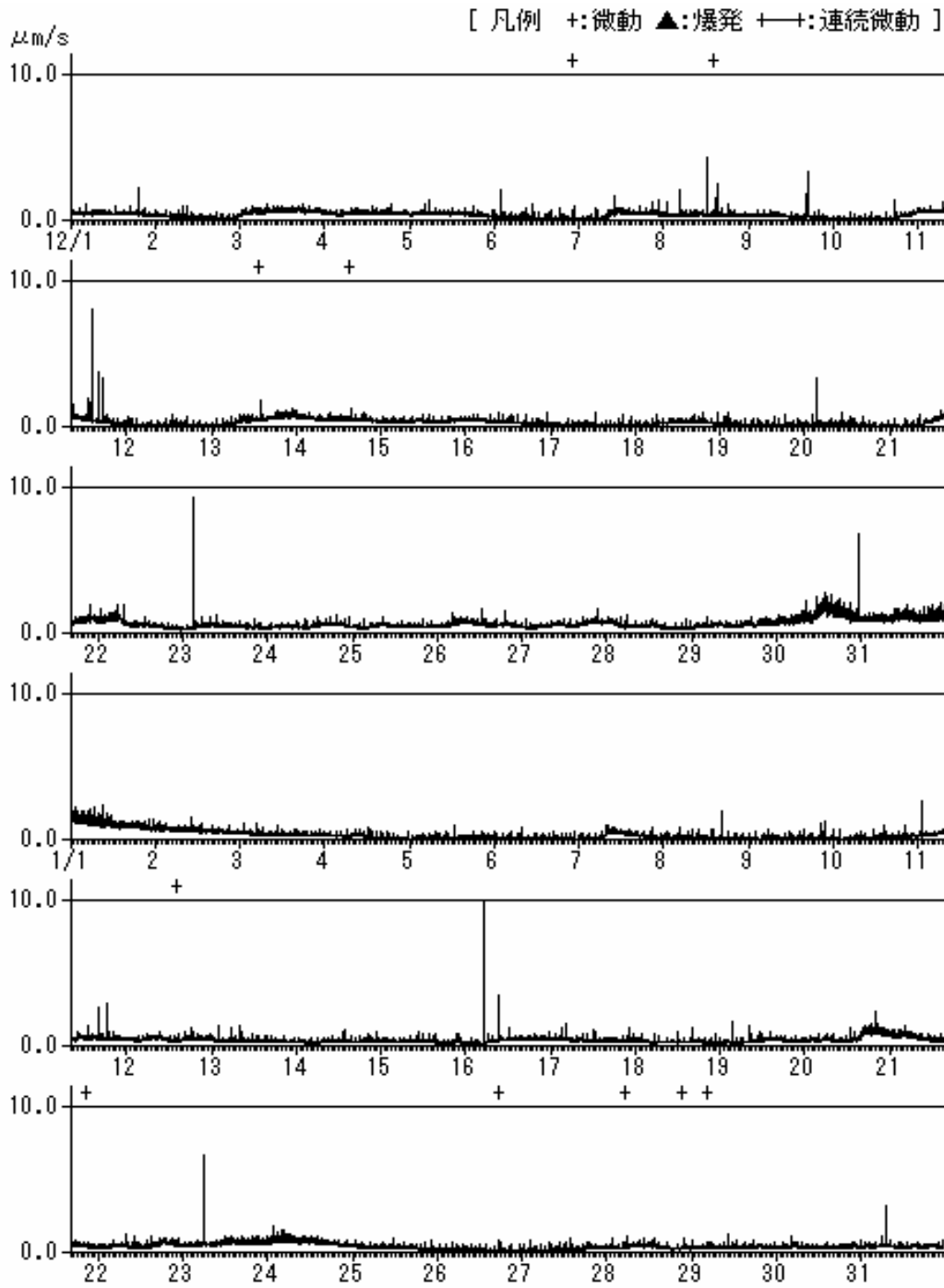


図 4 薩摩硫黄島 1 分間平均振幅の時間変化 (ST11 上下成分) (2007 年 12 月 1 日 ~ 2008 年 1 月 31 日)
 ・継続時間の短い火山性微動を 6 回観測しました。